

見聞 視察 レポート

先進地での学びを生かす

議会運営委員会 11月7日(火)～9日(木)

既成概念にとらわれない議会運営

埼玉県和光市…議会改革の取り組み

ポイント

和光市議会は議会基本条例をもとに、議会改革を積極的に進めている。改革を進めるための議会運営や開かれた議会を目指す取り組みなどを視察し、調査した。

視察を終えて

市民に開かれた議会を目指し、議会報告会を年2回開催している。

そこでは、市民との意見交換会も開催し、活発な意見交換を行うため、少人数のグループに分けて実施するなど工夫もされていた。

また、多くの市民から興味を持ってもらえるようにYouTube上に記録として配信は行っているものの、Live配信を行うには広告等の関係もあり非常に難しいという。実際の運用に向けては、慎重に議論を重ねていく必要があるものと感じた。

一般質問も、予算審査と決算審査のある3月と9月は30分以内、それ以外の6月と12月は40分以内と、状況に応じて時間を変更するといった対応を行い、既成概念にとらわれない議会運営方法、柔軟な対応姿勢を学ぶことができた。



議会の活動内容や成果を、市民の皆さんに分かりやすい議会運営を目指し、改革に取り組んでいる。議会報告会では、各議員が定例会等で審議された内容やポイントを分かりやすく説明されているという。

その他の視察先

- ◆茨城県取手市…オンライン委員会の運営と議会改革の取り組み
- ◆埼玉県所沢市…議会改革の取り組み

産業建設常任委員会 10月24日(火)～26日(木)

地域交通のあり方を考える「自動運転」

茨城県常陸太田市…自動運転実証実験の取り組み

ポイント

人口減少・少子高齢化がますます進んでいく社会において、公共交通を維持していくための手段として自動運転車両の実証実験の取り組みを視察し調査した。

視察を終えて

自動運転車両を導入し、平成29年から実証実験を進めている。現状では、車両に乗車するオペレーター1名と、遠隔による監視員1名の2名体制で運行している。事前に市街地の3Dマップを作成し、車両の運行状況を遠隔で監視する。

運行を維持するためには、人件費やクラウドサービスの使用料、車両メンテナンス費等が発生し、費用負担の課題がある。また、法整備も必要で、自動運転車両の速度や、混雑する時間帯の一般道での運行が難しいという問題もあるという。

自動運転の課題や可能性を具体的に理解できた。高齢化や地域の課題に対する新しいアプローチとして、今後の進展が期待されるが、財政や技術的な問題に向き合う必要もあると感じた。



茨城県内で最も高齢化率が高く、高齢者の近距離移動の対応や買い物環境の充実が課題だという。写真は、実証実験で運行した「自動運転EVバス」。

その他の視察先

- ◆茨城県石岡市…就農希望者が農業を学ぶ研修農場「朝日里山ファーム」
- ◆栃木県佐野市…「佐野ラーメン」食で観光PRの取り組み
- ◆栃木県宇都宮市…日本一の餃子消費量を観光資源として仕掛けた取り組み

燕市議会の3常任委員会や各種委員会で、燕市が抱える様々な課題について課題解決のヒントを得るため、同様の問題を解決したり、成果が出ている他自治体や企業などの視察を行っています。

視察では、現場見学や意見交換を行うなどして先進事例を学び、一般質問などにより課題解決に生かします。



視察報告の詳細はこちら

総務文教常任委員会 10月23日(月)～25日(水)

猛暑の夏の熱中症対策に「移動式エアコン」

長野県須坂市…避難所仮設空調、夏場の熱中症対策として使用している移動式エアコンの導入

ポイント

夏季の体育館使用授業で暑さ指数を越え、休止となる事態もあり、体育館空調に大きな関心を寄せていた。令和5年9月議会での「小中学校体育館に移動式エアコンを導入」の意向も含め、移動式エアコンの導入の実態と効果、導入機器を視察し調査した。

視察を終えて

須坂市の北部体育館は、令和2年度に移動式エアコンを4台導入し、新型コロナワクチンの接種会場としても活用された。導入されたものも含め、能力の違うタイプなど3機種をそれぞれ体感したが、1体育館当たり1台あれば済むものではなく、3、4台は必要であると感じた。

今夏の異常な暑さを体験する中で、体育館の冷房化を中心として見てきたが、冬場の体育館授業を子供たちが受けることを考えると、移動式の「エアコン」であることから、暖房機として使うこともでき、冬季における体育館の活用の利便性向上にも大きく役立つものと思う。

異常な暑さがこれから通年の夏の暑さとなることも考え、迅速な対策を取る必要があるのではないか。



新型コロナワクチン接種会場の職員は「移動式エアコンがなければ暑さに耐えられない状況だった」と、効果を語られた。

その他の視察先

- ◆茨城県つくばみらい市…体育館専用換気機能付き空調機の実証実験
- ◆埼玉県戸田市…教育改革の取組、戸田型オルタナティブプラン

市民厚生常任委員会 10月11日(水)～13日(金)

毎日行きたくなる児童遊戯施設

山形県山形市…児童遊戯施設「シェルターインクルーシブプレイスコバル」

ポイント

令和4年4月18日にオープン。一人ひとりに寄り添った施設を目指し、性別や年齢、人種・国籍の違い、障がいの有無など、異なる背景や特性を持つ子供たちが共に遊べる施設を視察し調査した。

視察を終えて

山形市内で2か所目の児童遊戯施設であり、時間をかけて課題を検討された部分が随所に見られた。

オープン以来、既に25万人の来場者があり、1か月平均1万5000人も来場されている。

全国からも視察が月に120件あり、42都道府県から来られていることから考えると、施設の素晴らしさが分かる。

「インクルーシブ」という概念のもと、子供たちにとって安心安全であり、自然をイメージして、体験を重視した遊びの場は、多くの来場者数につながっている。

1番人気は滑り台で、周りの山間の景色もマッチしており、素晴らしい施設であったと感じた。



近隣には教育施設や福祉施設もあり、計画段階から各施設との連携も行っている。

その他の視察先

- ◆山形県山形市…障がい者芸術文化活動普及支援施設「ぎやらりーら・ら・ら」
- ◆福島県福島市…特色ある幼児教育・保育プロジェクト